

おわりに

本マスタープランの実現に向けて全学的・組織的取り組みがなされるのはもちろんであるが、教職員・学生個々人がその実現に向けて自覚を持ち積極的な取り組み(施設の効率的な使用、適切な維持管理への協力、教育研究成果の醸成、経費の削減努力等)を行うための動機付けや寄附金等外部資金の獲得等に活用されることも期待している。

なお、本マスタープランは、10～15年程度を見据えて作成したものであり、できるだけ理解しやすいよう、イメージパースや写真等を随所に掲載しているが、イメージパース等はあくまで一つの事例として掲載しているものであり、施設整備実施に当たっては、更に詳細を検討する必要があるのみならず、国の予算状況や研究内容の変化等に対応して変更される可能性がある。

平成20年3月